「食に関する指導」の全体計画　（例）

学校教育目標

ふるさとに誇りを持ち、夢や目標に向かって努力し続ける、真にたくましい子どもの育成

【児童の実態】
・朝ごはんを毎日食べる児童○％
・肥満傾向の児童　○％
・給食残食率　○％
【保護者・地域の実態】
・朝ごはんを毎日食べる○％
・教育活動の参加に積極的

【第4次食育推進基本計画】
・朝食を欠食する子０％
・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合５０％以上
【都道府県（市町村）食育推進計画】
【教育委員会指導指針】

食育の視点
◇食事の重要性
◇心身の健康
◇食品を選択する能力
◇感謝の心
◇社会性
◇食文化

食に関する指導の目標

（知識・技能）
心身の成長や健全な食生活を実現するために必要な望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自らの生活をよりよくする能力を身に付ける。

（思考力・判断力・表現力等）
食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断したりできる能力を養う。

（学びに向かう力・人間性等）
主体的に、自他の健康な食生活を実現しようと、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。

各学年の食に関する指導の重点目標

幼稚園 保育園	１，２年	３，４年	５，６年	中学校
食事のマナー はしの持ち方 マナー指導	○ 好き嫌いせずに食べることの大切さを考えることができる。 ○　食事のあいさつ、よい姿勢で食べることができる。 ○ 正しいはしの使い方や食器の並べ方がわかる。 ○　協力して食事の準備や後片付けができる。	○ 健康に過ごすことを意識して、様々な食べ物を好き嫌いせずに３食規則正しく食べようとすることができる。 ○　協力したりマナーを考えたりすることが相手を思いやり楽しい食事につながることを理解し、実践することができる。	○ 栄養バランスのとれた食事の大切さが分かり、朝食を含め、３食規則正しく食事をとることができる。 ○　マナーを考え、会話を楽しみながら気持ちよく会食することができる。	心と体のバランスのとれた健康生活の充実 ○規則正しい生活の確立 ○早寝・早起き・朝ごはん

学校給食運営委員会（7月・12月・3月実施）
【出会者】：校長、教頭、教務主任、給食主任、学年代表、調理員代表、栄養教諭
【内　容】　給食の時間の指導内容の検討、運搬・配膳等について
献立に関する意見・要望　　等

食に関する指導

教科等における食に関する指導：　関連する教科等において食に関する視点を位置付けて指導
社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等

給食の時間における食に関する指導：食に関する指導：献立を通じて学習、教科等で学習したことを確認
給　食　指　導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

個別的な相談指導：肥満・やせ傾向、食物アレルギー・疾患、偏食、スポーツ

地場産物の活用
地場産物等の校内放送や電子黒板を活用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動との関連を図る。

家庭・地域との連携
積極的な情報発信、「弁当の日」取組、地域ネットワーク（人材バンク）等の活用、生産者との交流給食

食育推進の評価
活動指標：食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整